

令和6年度 西脇子ども会議

1 趣旨

西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例（令和2年4月施行）、こども基本法（令和5年4月施行）及び児童の権利に関する条約に基づき、子どもたちが社会の一員として自分の意見を表明できる機会を設け、その意見を子ども施策の策定等の反映につなげる。

2 実施状況

- (1) テーマ ～もっと笑顔があふれる西脇にするために～
「居たい」「行きたい」「やってみたい」
こどもまんなかの居場所をつくろう
- (2) 開催日 令和6年8月18日（日）
- (3) 場 所 茜が丘複合施設みらいえ ビューループ
- (4) 参加者 小中高生 13人、大学生ボランティア 9人
- (5) 講 師 大阪教育大学教育学部教授 小崎恭弘先生
- (6) 当日の様子

小崎先生から『笑顔の大切さ』や『居場所』などについて講義いただきました。その後、グループワークを実施しました。



4グループに分かれて積極的に意見を出し合いました。最後に各グループごとに発表を行いました。

令和6年度
西脇子ども
会議_HP



(6) グラフィックレコーディング

昨年度に引き続き、グラフィックレコーディングを導入し、先生の講義や各グループの発表の内容をリアルタイムで分かり易く図解しました。



3 子どもたちの意見

- ・たくさん勉強を教えてくれる人がいて欲しい。
- ・頑張ることができる場所が欲しい。
- ・USJのようなみんなで楽しく遊べる場所が欲しい。
- ・オープンスペース（知らない子とも仲良くなれたり、みんなで楽しく話せたりする場所）とサイレントスペース（テスト期間中などは、Miraieでは場所が少なくなるので勉強できるスペース）があるような場所が欲しい。
- ・笑顔と場所はつながっている。笑顔のときは好きな場所にいたり、家族とか学校にいるときなど好きな場所にいるときは笑顔だったりする。など

小崎先生から…

- ・日本は、「意見を言う権利（子どもの権利条約）」が弱いため、このような子どもたちの意見を聴く場は大事。皆さんは、「意見を言う権利」があるのだから自由に意見を言ってほしい。
- ・今日初めて会った人と話ができ、意見が出し合えることは素晴らしい。このように意見が言えることは皆さんの良いところ。これからも大事にしてほしい。

※子どもたちの意見は、西脇市の居場所をつくる取組に活かしていきます。